ふるさとと共に歩む ＜会報No.14＞

# 会津喜多方会

AIZU Kitakatakai

喜多方市

第14号 令和元年（2019年）10月12日/事務局 TEL. 080-6892-9947
発行人：会長 冠木雅夫　編集：会報編集部会　印刷所：村本商店

## きてみらんしょ のんでしゃべって おどらんしょ

## 第43回 会津喜多方会総会

11月16日（土） 上野 東天紅で開催

## ＜第43回　喜多方会総会＞

◎**日　時**　令和 元年11月16日（土）
受付開始：10時～　総会11時～ 12時　懇親会12時15分～ 15時00分

◎**会　場**　東天紅　上野本店　〒110-0008　台東区池之端1-4-1　電話03-3828-5111（代表）

◎**交　通**　ＪＲ各線「上野駅」下車、しのばず口より徒歩約10分　地下鉄千代田線「湯島駅」より徒歩3分

◎**会　費**　年 会 費：2,000円　但し、初参加者は無料です。　懇親会費：8,000円
特に初参加者は8,000円のところお一人様7,000円に、何人でも結構です。

●**お問い合わせ　会津喜多方会事務局　＜伊 関　宏 宅内＞**
**携　帯：080-6892-9947　TEL/FAX：048-433-6869　E-mail：iseki371@plum.plala.or.jp**

AIZU Kitakatakai

## ◆会津喜多方会◆
# 新規会員 随時募集中!!

当会は老若男女、出身地も問いません。
喜多方の酒・ラーメン・風景そして人情、何でも結構ですので
興味を抱いたら即、入会手続きを♪
**例年、11月第3土曜 上野東天紅で「総会・懇親会」を開催してるよ♬**

お問合せ先：伊関　宏
〒335-0026 埼玉県戸田市新曽南3-5-17-603
E-mail：iseki371@plum.plala.or.jp
携 帯：080-6892-9947
TEL/FAX：048-433-6869

## 会津喜多方会役員名簿
（令和元年8月31日現在）
（敬称略・順不同）

☆**顧問**
五十嵐 清人
五十嵐 忠雄
遠藤 和徳
小山 忠男
齋藤 平二
武田 恵美子
田部 勉
渡邊 衛

☆**相談役**
富木 みゑ

☆**会長**
冠木 雅夫

☆**副会長**
石嶋 正志
石綿 崇志
武蔵 好彦
山田 勝

☆**幹事長**
伊関 宏

☆**幹事長代行**
大竹 正直

☆**副幹事長**
甲斐ヨシエ
北村 三百子
高橋 雅子
永木 栄子

☆**監事**
大澤 昇
矢部 セツ子

☆**幹事**
秋葉 芙美子
秋元 美智子

穴澤 ミヨ子
岩田 千穂
内山 由美子
大川原 千保
大竹 英一
小野瀬 順治
小関 哲子
斎藤 實
鈴木 幹男
滝沢 雄二
東條 貴史
冨田 陽子
梨本 佐津子
夏井 淳一
新居崎 千津子
西村 久子
南出 京子
峯岸 純一
山田 春美
渡部 静子
渡部 武

☆**地元幹事**
園部 計一郎
小汲 康浩
小野 幸一
神田 敦男
山口 和志
猪俣 勝広
長谷川 薫
岩田 恒典
五十嵐 隆
甲斐 修一
瓜生 賢恵

☆**地元事務局**


低温熟成の
喜多方
自家製乾燥麺

老舗の職人が独自の技で生の風味をそのままに、
コシの強い乾燥ラーメンに仕上げました。

株式会社 五十嵐製麺
喜多方市字町尻東7468
TEL.0241-22-0457 FAX.0241-22-0459
URL.http://www.igarasi-seimen.co.jp

坂内（ばんない）

会津・喜多方ラーメン
坂内食堂（ばんない）
（朝 7時より）
福島県喜多方市御清水7230 ☎0241-22-0351

# ご挨拶

## 喜多方市長　遠藤　忠一

会津喜多方会の皆様におかれましては、日頃から、ふるさと喜多方のためにご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

今年度は民間の力を活用して、さらに魅力的な商品開発やプロモーション活動を行い、多くのファンの獲得に取り組んでいるところであります。

さて、喜多方の近況ですが、6月に東京五輪の聖火リレールートに本市が選ばれました。聖火が通る来年3月27日は、本市も賑わい盛り上がることと期待しています。米国の「復興ありがとうホストタウン」としてウィルソンビル市やボート協会との交流も重ねており、皆様とともにオリンピックを楽しんでいきたいと考えています。

また、今や全国的な桜の名所となった日中線記念自転車歩行者道のしだれ桜並木などでは20万人を超える方が訪れました。その他にも山都町の福寿草、熱塩加納町のヒメサユリや三ノ倉高原の花畑、雄国沼のニッコウキスゲ、塩川町の花しょうぶ、高郷町の雷神山花の森など、四季折々の花で皆様をお迎えしています。

観光客数は震災前の水準に戻りつつあり、これも皆様方のご支援があったからこそと改めて感謝申し上げます。

一方、本市を含め地方を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化など依然として厳しい状況が続いています。こうした中においても、社会的経済環境の変化にしっかりと対応しながら、持続可能な市政運営を行っていくため、「わくわくする喜多方」の創造に向けて、子どもの屋内遊び場や図書館などが入るひとづくり・交流拠点複合施設の建設や6月に立地第1号の協定を結んだ喜多方綾金工業団地への企業誘致など、「産業・人・地域を育む、温もりのあるまち　喜多方」の実現に取り組んでまいります。

結びに、会津喜多方会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げまして、挨拶といたします。

## 会津喜多方会会長　冠木　雅夫

日ごろ会津喜多方会にご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨秋の総会で会長を仰せつかりました。楽しく、有意義な会となるよう、非力ながら努力する所存です。よろしくお願い申し上げます。

会は昭和52年の設立で、総会はおかげさまで43回を迎えます。この会報も昭和57年の第2号以来、途切れておりましたが、平成20年の3号から復活し、この号で14号を迎えました。これも広告はじめご支援いただいた皆様のおかげです。厚く御礼申し上げます。

ところで、日本が大好きで最後は日本人として亡くなったドナルド・キーンさんは、喜多方を絶賛しておられました。43年前の『中央公論』（昭和53年10月号）に「福島紀行」が載っています。福島市から裏磐梯経由で五色沼に立ち寄ってから喜多方市に入り、まず新宮熊野神社を訪ねたそうです。そこで目に入ったイチョウの大木について「それまで見たこともないほどのもの」と驚きを表していました。そして長床については「ギリシャの神殿を思わせる」「はるばる喜多方へ旅をしても見るだけの価値はある」と評しています。帰路、会津若松から新潟への車窓についても「去りゆく山々の姿、木々の間に見え隠れする大きな阿賀野川、水田の真中にある小さな木立」「景色の美しさには眼を奪われる思いだった。車窓からこれほど快い光景は眺めたことがない」というのです。

実はこれ、さきほど述べた37年前の会報2号で知りました。筆者は地元の方ですが、キーンさんの激賞ぶりを紹介した上で、「観光協会も何らの反応しなかったし、街の多くの人もこれを知らない」と大いに不満のようでした。今であれば早速PRに活用すると思いますが、当時はそんな空気だったのでしょうか。

それはそうと、このように美しい自然と文化に恵まれた地に生まれ育ったことは私たちの誇りです。お金には換えられない財産、遠藤忠一市長が言っておられる「お宝」に恵まれています。伝統的なものに加えて新しい「お宝」が続々と産れていることも嬉しいことです。近年の喜多方は話題性が一層増しているように見えます。会津喜多方会としても、地元の方々と連携を強めて応援できればと考えております。

# 平成30年第42回会津喜多方会総会ご出席の皆様（順不同、敬称略）

## ご来賓の方々（肩書きは開催時のものです）

菅家　一郎
（衆議院議員）

唐橋 幸市郎
（会津喜多方商工会議所会頭）

遠藤　忠一
（喜多方市長）

長澤 勝幸
（喜多方市議会副議長）

伊藤　直樹
（福島県東京事務所長）

| | |
|---|---|
| 唐橋　幸市郎 | 会津喜多方商工会議所会頭 |
| 風間　常義 | 会津喜多方商工会議所副会頭 |
| 佐藤　富次郎 | 会津喜多方商工会議所副会頭 |
| 瓜生　賢恵 | 会津喜多方商工会議所専務理事 |
| 遠藤　忠一 | 喜多方市長 |
| 長澤　勝幸 | 喜多方市議会議長（代理） |
| 園部　計一郎 | 喜多方市企画政策部長 |
| 遠藤　紀雄 | 喜多方市企画政策部企画調整課長 |
| 神田　敦男 | 喜多方市産業部観光交流課長 |
| 猪俣　勝広 | 喜多方市課長補佐兼秘書広報室長 |
| 長谷川　薫 | 喜多方市企画政策部広報広聴係長 |
| 菅家　一郎 | 衆議院議員 |
| 小熊　慎司 | 衆議院議員（代理出席） |
| 伊藤　直樹 | 福島県東京事務所長 |
| 金子　昌輝 | 東京福島県人会副理事長 |
| 遠藤　輝男 | 会津会副会長 |
| 根本　一次 | 会津会顧問 |
| 山内　裕正 | 会津会幹事長 |

| | |
|---|---|
| 大越　康弘 | 会津赤べこ会代表 |
| 佐々木美恵子 | 会津赤べこ会事務局長 |
| 田中　義吉 | 東京川俣会会長 |
| 吉田　房人 | 東京福島県人浜通り会幹事長 |
| 新田　興助 | 在京西会津会長 |
| 星　英光 | 在京西会津会幹事長 |
| 五十嵐　孝司 | 会津坂下会幹事長 |
| 中野　善次 | 前、在京下郷会会長 |
| 阿部　亜夫 | 前、東京猪苗代町民会事務局長 |
| 宇津木　繁 | 東久留米市福島県人会事務局長 |
| 柄本　廣央 | 山都町ふるさと会幹事長 |
| 風間　常行 | 首都圏桜壇同窓会長 |
| 庄司　達雄 | 桐桜高校関東支部同窓会幹事長 |
| 岡　亨 | 福島民友新聞社東京支社 |
| 山口　隆夫 | 喜多方ふるさと振興（株） |
| 長谷川　由香 | 喜多方市ふるさと納税 |
| 風間 勝 他10名 | 会津喜多方祭囃子盆踊り保存会 |

## 会員参加者（50音順・敬称略）

秋葉　芙美子
秋元　美智子
穴澤　ミヨ子
阿部　正吉
荒川　光久
淡路　久里
安藤　和夫
五十嵐　隆
石澤　和也
石嶋　正志
石綿　崇志
伊関　宏
磯部　満
磯部　泰司
伊藤　銀次郎
伊藤　冨勝
井上　和子
井上　美代子
岩田　善治
内山　由美子
遠藤　和徳
大川原　千保
大澤　昇
大角　尚子
大竹　昭雄
大竹　英一
大竹　昭二
大竹　正直
大森　貞彦
大木　和彦
尾上　昭子
小野瀬　順治
小山　忠男
甲斐　ヨシエ
海上　冷子
片岡　悟
冠木　憲一
冠木　哲男
冠木　雅夫
北島　喜彦
北見　紘一郎
北村　三百子
吉良　敦子
小荒井　正孝
小池　一貴
小関　哲子
齋藤　實
齋藤　義光
坂口　英雄
佐々木　裕恭
佐竹　規矩夫
佐藤　篤
佐藤　義喜
島崎　庸子
杉山　昭代
鈴木　幹男
高橋　暲子
高橋　雅子
滝沢　雄二
武田　恵美子
谷口　利子
田場川　クニ子
田部　勉
辻田　サト子
東條　貴史
富木　み乙
富田　陽子
永木　栄子
長澤　隆男
長澤　房雄
長嶺　次郎
梨本　佐津子
奈良部　健治
西村　久子
新田　盛夫
平田　三智也
星　敬治
星　誠
松井　邦之
三橋　光介
満山　明子
南出　京子
峯岸　純一
武蔵　好彦
村岡　美佐次郎
宗像　健ツセ子
矢部　春美
山田　勝
山田　江己子
山中　佳克
湯原　静子
渡部　眞一
渡部　衛

画像は昨年（第42回）会津喜多方会総会より

## 初参加者（50音順、敬称略）

石澤　美樹
金子　直伸
唐橋　幸夫
小堀　哲哉
齋藤　信子
鷲谷　く子
佐藤　静一
佐藤　ふギ
佐藤　絢夫
佐藤　ツ子
柴田　栄勉子
庄司　也之
鈴木　子一
茅根　治子
坪井　子延
夏井　チ誠
星　喜厳
細木　一
水野　啓
宮沢　栄
山岸　ウ
渡部　ヨ
　　淳
　　代
　　クチ
　　嘉
　　トイ

## 会員欠席者（年会費払込者・50音順・敬称略）

飯塚　卓人
五十嵐　清平
五十嵐　昭子
五十嵐　節雄
五十嵐　忠子
板橋　和亮
伊藤　洋晴
伊藤　光光
猪俣　利肇
岩井　肇
岩田　穂
内山　人
遠藤　昭
大城　節
大竹　忠
大木　和
小椋　義
小椋　善
小澤　二
小澤　弘
斐　道
甲藤　弘
加唐　市
北見　男
黒澤　信
越橋　一
齊藤　稔
齋藤　子
佐瀬　信
佐藤　子
佐藤　澄
佐藤　則
佐藤　眞
佐藤　弘
佐藤　市
佐藤　男
佐藤　信
日出　一
雄　稔
茂　子
英　信
則　澄
眞　子
夫　澄
之　眞
博　樹
造　英
子　樹
世　
三　
二　
雄　
文　夫
善　之
将　博
孝　造
睦　子
一　世
昌　三
平　二
常　雄
久　三
高　好
棚木　男
田邊　信
谷合　夫
塚本　子
鶴巻　也
中川　夫
鳴瀬　男
西川　子
橋谷田　毅
ミ　三
フ　好
正仁　男
義薫　信
親信　夫
智美　子
喜代洸　也
文恵　夫
英樹　男
沼　三
沼内　好
内原　男
川田　信
田内　夫
吉　子
江　也
物　毅
三　
好　
男　
子　
子　
尚　
武　
健　
隆　
典　
昌　
弘　
部　
崎　
澤　
山　
林　
邊　
横　
米　
若　
渡　
渡　
部　
超良昭善京瞬達俊タキ
男信夫子也夫男子毅

# 会津喜多方会　第42期決算報告
（自 平成30年4月1日～平成31年3月31日）

## 1　貸借対照表　（平成31年3月31日現在）　単位：円

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---|---|---|---|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 現金 | 95,498 | 余剰金 | 525,882 |
| 郵便振替預金 | | | |
| 通常郵便預金 | 430,384 | | |
| 定額郵便預金 | | | |
| 定期預金 | | | |
| 合計 | 525,882 | 合計 | 525,882 |

## 2　収支計算書　（自 平成30年4月1日～至 平成31年3月31日）　単位：円

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---|---|---|---|
| 年会費 | 316,000 | 総会・懇親会経費 | 1,203,886 |
| 総会・懇親会費 | 744,000 | 謝礼・協賛金 | 170,050 |
| 祝儀・寄付金 | 171,000 | 印刷費 | 67,943 |
| 来賓・懇親会費 | 264,000 | 通信運搬費 | 36,911 |
| 初参加者会費 | 154,000 | 事務所費 | 30,000 |
| 広告料 | 480,000 | 事務用品費 | 19,867 |
| 役員有志寄付金 | 41,000 | 会報発行費 | 572,846 |
| 受取利息 | 5 | 旅費交通費 | 120,000 |
| 前期繰越金 | 690,275 | 会議費 | 62,800 |
| | | 郵便振替・支払手数料 | 21,594 |
| | | その他・慶弔費 | 28,501 |
| | | 次期繰越金 | 525,882 |
| 合計 | 2,860,280 | 合計 | 2,860,280 |

上記のとおり報告致します。　令和元年４月１日

会長　冠木　雅夫　印
幹事長　伊関　宏　印
会計　大竹　正直　印

上記について監査した結果、適法適正なることを認めます。

令和元年5月11日

監事　大澤　昇　印
監事　矢部　セツ子　印

# 会津喜多方会　第43期予算案
（自 平成31年4月1日～令和2年8月31日）

## 第４３期予算案（平成31年4月1日～令和２年8月31日）　単位：円

| ＜収入の部＞ | | 備考 |
|---|---|---|
| 前期繰越金 | 525,882 | 前期比－164,393円 |
| 年会費 | 340,000 | 支払予定者　170名×2,000円=340,000円 |
| 総会・懇親会会費 | 880,000 | 会員参加予定者　110名×8,000円=880,000円 |
| 祝儀・賛助金等 | 170,000 | |
| 来賓・懇親会会費 | 240,000 | 来賓予定者30名 |
| 初参加者懇親会会費 | 210,000 | 初参加予定者　30名×7,000=210,000円 |
| 広告協賛金 | 520,000 | 喜多方市役所・会津喜多方商工会議所他 |
| | | |
| 当年度収入合計 | 2,885,882 | |

| ＜支出の部＞ | | |
|---|---|---|
| 総会・懇親会経費 | 1,200,000 | 懇親会経費 1,000,000円 酒類代 35,000円<br>お土産代　70,000円 イベント費 50,000円<br>その他45,000円 |
| 会報発行費 | 500,000 | 会報製作費(2,000部) 300,000円 広告協賛依頼・取材費100,000円 会報送付費 70,000円<br>その他 30,000円 |
| 協賛金・参加費 | 190,000 | 喜多方夏まつり運営委員会協賛費 30,000円<br>東京福島県人会参加費30,000円<br>会津会他在京ふるさと会参加費 60,000円<br>広告協賛金 20,000円 その他50,000円 |
| 印刷費 | 70,000 | 総会案内状・はがき・シール印刷 20,000円<br>会議資料コピー費 20,000円 名刺代 20,000円<br>その他 10,000円 |
| 通信運搬費 | 90,000 | 総会案内状はがき送付費 60,000円<br>幹事会案内送付(切手)費 25,000円<br>広告主様宛送付（切手）費5,000円 |
| 事務所費 | 30,000 | 事務局使用 |
| 事務用品費 | 30,000 | インクトナー費・領収証 20,000円 その他10,000円 |
| 旅費交通費 | 150,000 | 地元会議旅費補助 120,000円 広告拡大旅費補助 30,000円 |
| 会議費 | 50,000 | 幹事会補助費・総会打合せ費 50,000円 |
| 郵便振替手数料 | 30,000 | 年会費・総会懇親会費振替手数料 30,000円 |
| その他 | 20,000 | 慶弔費等 |
| 当年度支出合計 | 2,360,000 | |
| 予備費 | 525,882 | |
| 合計 | 2,885,882 | |

## 平成30年会津喜多方会　祝儀・寄付金一覧

単位：円

| ご芳名 | 所属名 | 金額 |
|---|---|---|
| 武田　恵美子 | 会津喜多方会会長代行 | 50,000 |
| 渡邊　衛 | 会津喜多方会顧問 | 30,000 |
| 加藤　善之 | 会津喜多方会顧問 | 20,000 |
| 五十嵐　忠雄 | 会津喜多方会顧問 | 10,000 |
| 坂内　善次郎 | 日本体育施設（株）取締役会長 | 10,000 |
| 新田　興助 | 在京西会津会会長 | 10,000 |
| 鈴木　眞澄 | フラメンコスタジオ・マジョール代表 | 8,000 |
| 梅津　和夫 | 三鷹市福島県人会会長 | 5,000 |
| 長嶺　次郎 | 会津喜多方会会員 | 3,000 |
| 猪俣　利光 | 会津喜多方会会員 | 3,000 |
| 吉田　房人 | 東京福島県人浜通り会幹事長 | 2,000 |
| 五十嵐　隆 | 会津喜多方会会員 | 2,000 |
| 石澤　美樹 | 会津喜多方会会員 | 2,000 |
| 佐藤　栄徳 | 会津喜多方会会員 | 2,000 |
| 佐藤　繁子 | 会津喜多方会会員 | 2,000 |
| 佐藤　勉 | 会津喜多方会会員 | 2,000 |
| 庄司　一也 | 会津喜多方会会員 | 2,000 |
| 夏井　淳一 | 会津喜多方会会員 | 2,000 |
| 宮沢　嘉延 | 会津喜多方会会員 | 2,000 |
| 若林　弘子 | 会津喜多方会会員 | 2,000 |
| 西村　勝 | | 2,000 |
| 合計 | | 171,000 |


小田付地区が「重要伝統的建造物保存地区」に選定!

福島県建築士会喜多方支部

支部長 室井 浩一
副支部長 庚塚 俊恵　副支部長 樫内 秀司
理事庶務 斎藤 弘幸　理事会計 吉川 清志
TEL：0241-24-3131 FAX：0241-25-7171
事務局 〒966-0827 喜多方市字沢ノ免7331（会津喜多方商工会議所内）

きたのはな 喜多の華 蔵の町銘酒

吟醸 本醸造 喜多の華
純米酒 蔵太鼓
醸造元
合資会社 喜多の華酒造場
代表社員 星 敬志

根性込めた酒造り

〒966-0862 福島県喜多方市字前田4924番地
TEL.0241－22－0268
FAX.0241－22－0268

# 平成30年度事業報告

## 総会及び懇親会の開催

11月17日（土）東天紅上野店において来賓、遠藤喜多方市長・唐橋会津喜多方商工会議所会頭他33名、会員116名の出席で総会を開催しました。また地元の「会津喜多方祭囃子盆踊り保存会」の友情参加（10名）もあり、計161名で懇親会も盛大に終了することが出来した。

## 会津喜多方会の活性化に向けた施策の展開

### ①総会・懇談会委員会

甲斐委員長を中心に、総会の改善策やアトラクション等の企画立案を実施。

### ②広告委員会

石嶋委員長を中心に地元喜多方に赴き、会報広告の新規開拓や継続依頼を実施しました。

### ③広報委員会

永木委員長を中心に新規会員呼びかけの一環としてHPの立上げや、会報編集の打合わせ及び寄稿文・広告データ・写真の校正をして会報No.14に編集しました。

### ④事務委員会

伊関委員長を中心に本会の運営と組織改善、特に次世代の新規会員勧誘などの活動及び総会・懇親会までの打合せで幹事会の招集や総合的な企画立案を実施しました。

## 幹事会・常任幹事会の開催

幹事会5回、常任幹事会3回開催し、忌憚の無い意見を交わして会運営の更なる飛躍を誓いました。

## 関係機関・団体との連携

◆H30年
10月21日（日）山都町ふるさと会
10月27日（土）会津会総会
11月2日（金）東京福島県人会秋季大会
12月7日（金）会津赤べこ会忘年懇親会

◆H31年
1月14日（月）会津会新年会
1月31日（木）東京福島県人会新年会
4月13日（土）会津赤べこ会テーマ懇談会「会津の発展を目指して」
講師：遠藤　忠一　喜多方市長
4月22日（月）～23日（火）
会津赤べこ会桜の旅

◆R元年
5月10日（金）会津赤べこ会春季会

5月18日（土）在京西会津会総会
5月19日（日）在京きたしおばら会
6月15日（土）首都圏桜壇同窓会総会
6月22日（土）東京福島県人会春季総会
6月23日（日）会津坂下会総会
8月27日（火）
会津喜多方商工会議所創立70周年記念式典
9月7日（土）
がんばっぺ！福島応援交流会
などが開催されたので、それぞれ代表が参加しました。
また、6月21日（金）喜多方市「割烹　みよし」において市役所・商工会議所・金融団・地元幹事との「第10回懇談会」を開催しましたが遠藤市長・唐橋商工会議所会頭他多数のご参加を頂き、当会からは冠木会長以下10名が参加し計32名で懇談しました。

（写真参照）

## 平成31年（令和元年）度事業計画

①ふるさと喜多方市の活性化支援と「ふるさと納税」「蔵のまち喜多方夏まつり」等への協賛
②喜多方市及び関係機関・在京ふるさと他団体との連携協力と交流
③地元物産展への参加と物産品の購入促進支援
④新規会員獲得と総会懇親会参加者の勧誘
⑤幹事会・常任幹事会及び担当委員会の招集開催
⑥喜多方市関係者との懇談会開催
⑦11月16日（土）第43回総会懇親会の開催

全国新酒鑑評会
8年連続金賞受賞
福島県7年連続日本一獲得
合資会社 大和川酒造店 弥右衛門 やうえもん

〒966-0861　福島県喜多方市字寺町4761
TEL.0241-22-2233 FAX.0241-22-2223 E-mail：sake@yauemon.co.jp

# 喜多方ラーメン史早分かり
## ～先覚者の皆さん～

冠木　雅夫

喜多方ラーメンの歴史を簡単に紹介しようと思います。まずは、ブームに先立ち、その豊かな基盤を作った先覚者の皆さんについてです。

喜多方ラーメンの元祖と言われるのは源来軒の潘欽星（ばんきんせい）さんです。お土産パッケージにあるにこやかな写真が印象的な方です＝写真下。

潘さんは1906年中国浙江省生まれ。両親と死別し、日本で働こうとまず長崎に渡りました。大正14年（1925年）、19歳の時です。横浜、東京で土木作業員をし、昭和2年（「大正末期」説も）に加納鉱山で働く叔父を頼って喜多方に来たそうです。しかし鉱山で仕事はできず、屋台で支那そばを売り歩くことにしました。故郷を思い出して見よう見まねで作ったのが「平ったくて、太い麺で、縮れ麺」。太麺は出前で伸びないため。

「縮れは、つゆをうまく絡み合う工夫」とのことでした。潘さんの偉いところは、麺やスープづくりを秘伝とせずに広めたことです。弟子は100人といわれ、昭和61年に市の産業経済功労者として表彰されました。

次に、上海食堂です。終戦直後に旧満州から引き揚げた長島ハルさんが開いた店です。大陸ではクリーニング店を営んでいたそうですが、近くに駐留する喜多方出身の兵士にラーメンを振舞って好評だったそうです。ハルさんの母親が好んだ上海料理がベースの塩味ラーメンでした。

その上海食堂で店員として働いていたのが、坂内新吾さんです。出前先で知り合ったヒサさんとの結婚を機に、昭和33年に独立して坂内食堂を始めました。上海食堂仕込みの塩味ラーメン。ダシは豚骨が基本で隠し味に醤油が少し入っているそうです。開店当時は一杯40円、たばこ「新生」と同じ値段でした。

そして「満古登食堂」です。初代の佐藤ウメさんは、最初は麻雀屋、その後下宿屋とうどん店をやっていたそうです。下宿していた若い女の子に「おばちゃん、東京では支那そばが流行っていた。やってみたら」と言われたのがきっかけだそうです。醸造元と相談した特注の醤油をベースに、煮干と豚骨でダシをとる支那そばを作りました。これが喜多方の醤油ラーメンの基本になったそうです。

こうして塩味の「坂内」と醤油味の「満古登」が、後の喜多方ラーメンブームの起爆剤になったというわけです。

ここで忘れてはいけないのが製麺です。機械打ちの麺を量産した蓮沼季吉さんです。医師を志して東京で勉強していましたが、二人の兄が戦死し、家を継ぐべく帰郷したそうです。都内では鍋などに小麦粉を入れて並ぶ行列が目につきました。加工賃を払ってラーメンを打ってもらっていたのです。蓮沼さんは「俺は喜多方で機械打ちラーメン製造をやる」と決意し、ふるさとで最初の製麺所を始めたそうです。現在のはすぬま製麺（有限会社永善）です。お手本にしたのが、すでに屋台をやめて喜多方駅近くに開店していた源来軒の手打ちラーメンのようです。「平ったくて、太い麺までは機械で打てたが、……試行錯誤して縮れ麺になるよう機械を改良」したそうで、これが『手打ち風の喜多方ラーメン』のルーツになったといわれます。蓮沼さんの製麺所で働いていた方々が独立し、新たな製麺所を開業するという動きにもつながりました。その一人が曽我製麺の創業者、曽我忠英さんです。「手打ち」だけでは多くの需要は満たせません。機械打ちによる「手打ち風」生産が「喜多

## 『麺食』創業者 中原明さんの喜多方との出会い

「喜多方ラーメン坂内」を全国展開する「株式会社　麺食」。創業者の中原明さんに喜多方との出会いを聞きました。

そば職人の腕に自信があった中原さんは、国鉄の関連会社で役員としてそば・うどんの店を営んでいました。折しも国鉄が民営化を準備している時期。「駅から街に出てラーメン店を開業する」ことを決意します。では、どんなラーメンをやろうか、ということで1年以上全国を食べ歩いたのですが、なかなかいい出会いがない。そんな中で大阪に出向いた帰途のことでした。

伊丹空港からの機内で、近くの席で少し酔った男性客二人が話をしていた。「おい、おめえよ、喜多方ラーメン食ったか？　あの街はすげえな」。中原さんは「そんなすごいラーメンが？」と気になったものの、喜多方がどこにあるかも知らなかった。会社に帰って調べた上で、喜多方を訪れたのだそうです。

その喜多方では、上海、満古登、坂内などを食べ歩き、「麺のグレードの高さに驚いた」というのです。「この麺はすごいな、どこの製麺屋さんだろう」と、八七一タクシーで曽我製麺に案内してもらった。工場を見学して「その純粋な作り方」に驚いたといいます。店で見習いをしたいと思い探していたら、社長（当時）の曽我忠英さんが坂内食堂の坂内新吾さんを紹介してくれたとのことです。

坂内食堂で見習いを約1週間。特に目をひいたのが肉でした。「当時、チャーシューは豚の肩肉を糸で縛って作っていた。ところが坂内のお父さん（新吾さん）は、肉のうまいのは三枚肉（バラ肉）だろうって」。「酒好きで、知り合いが来たらサービスで肉をポンポン載せて、コップ酒付きで出していましたよ。お母さんにいつも怒られてた（笑）」

その成果がＪＲ発足と同じ昭和62年4月に東京・新橋のガード下に開店した「くら」（現在は「坂内」）です。坂内食堂と曽我製麺が協力してくれました。翌年独立して設立した「麺食」は現在、国内64店、米国5店。中原さんは息子の誠さん（社長）に国内を任せ、会長として海外部門を担当しています。

方の支那そば」の普及に大いに寄与したといえるでしょう。

このように、いくつかの先駆的なお店と製麺所、そこでの技術革新によって、美味しい喜多方ラーメンの素地が地道に築かれていったのでした。

では、そのように知る人ぞ知る美味しいラーメンが、どのようにして、全国的な評判を得ることになったのでしょうか。

大きかったのは、喜多方の蔵が注目されたことでした。蔵観光で来た人の昼食というコースができあがり、市役所も仕掛け人となってラーメンのＰＲに精を出しました。札幌、博多と並ぶ日本の三大ラーメンと呼ばれるようになったのは昭和60年代初め、市や商工会議所、有力店が音頭を取り、ラーメン店40軒、製麺５社が加盟した「蔵のまち喜多方・老麺会」が発足したのが昭和62年３月でした。このあたりからの経緯は、また機会がありましたらご紹介しようと思います。

＜富山昭次著『木偶の坊仕事人』（正・続）、中原明企画『デジャヴュな街・喜多方』、『喜多方市史』第３巻、「麺匠はすぬま」ホームページを参考にしました＞

喜多方 坂内（ばんない） ラーメン

株式会社　麺　食

〒143-0016　東京都大田区大森北2-14-2　大森クリエイトビル7F　TEL：03-3298-6161

◆特集◆

# おたづき蔵通りのまちづくり

## ～重伝建地区の課題と展望～

会津北方小田付郷町衆会事務局　星　宏一

まちなかを流れる田付川の東側、いわゆる小田付地区の一部が平成三十年八月、文化庁から重要伝統的建造物群保存地区（以下、重伝建地区）として選定されました。全国では百十八番目、福島県では大内宿、前沢集落に次いで三番目ですが、都市部の重伝建地区としては県内初になるそうです。

この制度は「個々の建物は文化財級と言えなくても、それがまとまって残っている地区を行政が指定し保存していく」というものです。喜多方市も昭和五十五年度に当時の「中央通り」と「南町通り」を調査しましたが、選定までは至りませんでした。このころ重伝建となった地区には大内宿をはじめ、秋田の角館、岐阜の白川郷、飛騨高山、倉敷市など有名な観光地が名を連ねています。

昭和五十年に放送されたNHKの番組がきっかけで脚光を浴びた「蔵のまち喜多方」も、七、八年後から次第に「ラーメンのまち」に変わっていきます。それ以降、いわゆる町並み保存をまちの活性化に役立てようという動きは平成八年の「蔵の会」結成まで現れず、小田付地区ではさらに遅れて平成十五年「会津北方小田付郷町衆会」の設立がスタートでした。その後、平成二十二年の住民景観協定締結を経て重伝建地区選定に至るのですが、大震災による風評被害も大きく、名物の蔵馬車が廃止になり、地域のまちづくりの中心的な存在だった味噌屋の井上合名金忠が平成二九年一月に廃業するなど、その影響は今もなお残ります。

旧金忠江戸蔵、明治蔵のライトアップ。
江戸蔵で新金忠が営業中

さて、重伝建地区選定をまちの活性化に結び付けるための課題の一つは、効果が出るまで時間がかかる点です。この制度では地域内の景観に影響する行為は全て規制される一方、蔵や古民家の修理や修復に手厚い補助金が出る仕組みになっています。しかし年間の予算が限られるため、少しずつしか事業が進められないのが悩みです。また、まちの魅力アップには美しい景観だけでなく食を含めた色々な体験、ショッピングの場所も大切ですが、今、おたづき蔵通りにはひと握りのお店しかなく、これをどうやって増やしていくかも大きな課題と言えます。

廃業で空き家になった旧井上合名金忠の江戸、明治、大正の蔵三棟をふくむ土地建物は、筆者ら有志が出資して一昨年の末に取得し、現在その江戸蔵で「新金忠」という飲食店を営業しております。今年の十連休には観光客を当て込み明治蔵で物販を試みましたが、通りを歩く人はまばらで、ラーメン店の大賑わいとは対照的でした。

小田付地区のまちづくりは今、緒に就いたばかりです。これからも官民が協力し、車の両輪となって地域の魅力向上と情報発信に努める必要があります。ただ、収益が見込めない現状で民間の先行投資を呼び込むには限界があり、重伝建制度以外の支援、例えば新規開業者への補助金拡充や地域おこし協力隊員の投入なども一考に値すると考えています。

「和飲蔵（わいんぐら）　星酒店　店主」

（新金忠URL：https://snack-bar-2093.business.site/）

築100年以上の店蔵が並ぶ小田付地区
（左が小原酒造、右が村藤・大森家）

### 小田付の重要伝統的建造物群保存地区

小田付地区（旧小田付村）は喜多方市の中心市街地の東側部分、天正10年（1582年）に町割りが行われ、領主の統制のもと流通を促すため定期市が近村から移された。定期市で賑わうとともに、豊富な伏流水と土蔵の保存性の高さを利用した酒・味噌・醤油の醸造業が発展した。こうした定期市の開催と生業の発展が在郷町としての発展形成を促し、現在でも近世末期の短冊状の地割の上に多様な土蔵が並ぶ特徴的な歴史的風致を形成していることから重要伝統的建造物保存地区の選定を受けた。

# 特集 蔵の町 喜多方

## 蔵のまち 喜多方

### 杉山蔵群

### 旧甲斐家蔵住宅

### 三津谷レンガ蔵群

### 新金忠

### 喜多方市美術館

### 閑月窯

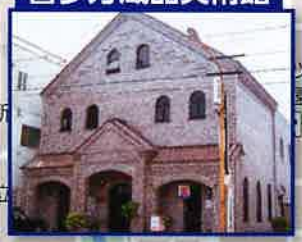
### 蔵屋敷あずまさ

### ギャラリー 隠れ里

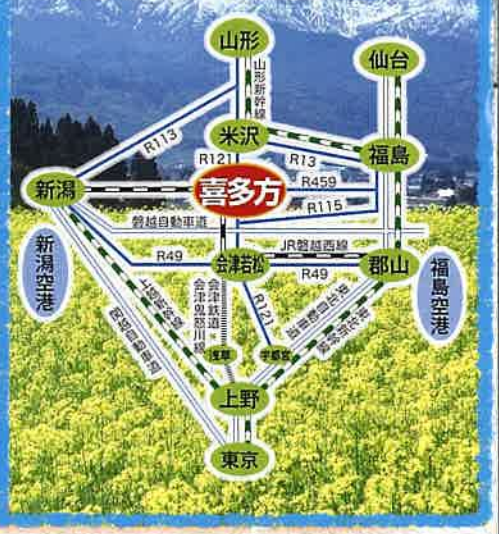
### 喜多方蔵座敷美術館

### 若喜商店煉瓦蔵

### 喜多方蔵品美術館



### 飯豊連峰




### 近代美術史料館

### 桐のこ人形館

# 上町のまちなみづくりと甲斐本家

設計まちづくりテント主宰
高橋 梢

喜多方市で第一号となる国登録有形文化財「甲斐本家蔵座敷」が位置する上町地区では、蔵座敷を中心とした風格あるまちなみを守り育むことを目的として、昨年度景観協定を締結した。特に蔵が多く建ち並ぶ通りではないが、漆喰や土壁、煉瓦など多様な素材や、リズムある屋根並み、格子窓など意匠も多彩なまちなみを形成しているのが特徴だ。中心市街地にありながら、駅から最も離れた最北部にあり、まちの中心のふれあい通りから分断された状況にあった上町で、景観まちづくりが一歩進められたことは、単独ではハードルが高い甲斐本家蔵座敷の活用再生を図る上でも、余りに意味が大きい。

上町まちなみづくりのイメージ

上町ではこれまで住民の方々が中心となり、まちづくり勉強会をはじめ、子ども達も交えて、空き店舗を活用した仮想商店街プロジェクト等に取り組んできており、私もその活動のお手伝いをしてきた。その取り組みが認められ、ふれあい通りから続く上町の通りにおいても、電線地中化や無散水消雪の道路整備が進められることとなった。道路整備を契機として、空き家・空き店舗の活用など、まちづくりをより協力して進めていこうと、今回景観協定を締結した。協定の範囲は道路に面する建物が主となっているが、沿道の住民だけでなく、周辺の住宅地の若い世代の方々とも一緒になって、町全体で景観まちづくりをすすめることが今後は大事になってくる。そのため、うらみちを含めた周辺一帯の方々にも、自分のまちの良さを意識してもらい、ちょっとしたことでもみながすぐ動けるように、「まちなみデザイン上町」という実践ｂｏｏｋを制作し全戸に配布した。景観づくりは、なにも調和のとれた外観をつくることではなく、こんなまちになったらいいね、という想いを共有して、自分たちの目指す良い生活を自分たちでつくっていこうとすること、即ち人の気持ちづくりだといえる。その気持ちが結果として、観光交流においてのもてなしにもつながっていくものと考える。

甲斐本家蔵座敷

甲斐本家蔵座敷は名実共に歴史的な建造物であるが、現在はまだ拝観物として公開する凍結保存に近い。歴史的な魅力を「拝観」することでしか堪能できないのは、愉しみ方としては僅少だ。改修で延命する考古学的な魅力のみではなく、造り手＋使い手の意志で現役の蔵として現代に呼応し、まち全体で建物の第二の人生をつくり、「生きの良さ」という魅力で未来につなげたい。通りのまちなみづくりは、その使い方を豊潤にする一助となっていくものと期待している。

甲斐本家店蔵（左）と住宅

# 喜多方には太鼓台あり！

会津喜多方会幹事長
伊関 宏

会津若松への対抗心の表れの1番手は何と言っても「太鼓台」である。町中にある出雲神社・諏訪神社の祭礼の折、各町会が所有している太鼓台を出し、町中を引き回しするお祭りである。

太鼓台とは大きな4個の車輪を持つ2階～3階建ての山車で、大太鼓1人、小太鼓2人、御鈴数人、笛10～20人、拍子木4～5人で構成される物で、1つの太鼓台で30人～100人に成る事もあり、その山車は赤い提灯で飾られ（全体で50個～100個）夜になると遠くからでもその有様はすぐに判る事が出来る。

山車の中には太鼓台を引けない幼子が乗り込み華を添えている。神社ごとの祭礼の時期が違う為、54年前から年に一度8月22日に「蔵の町喜多方まつり」と称して太鼓台競演が取り行われ、近年は22台の太鼓台が参加して勇壮な祭りが催されている。昨年NHKの故郷紹介のテレビ番組で、祭りの代表が「若松に勝てんのはこれしか無えから」と語っていた言葉が印象的である。

若松から喜多方へ嫁に来た御婦人方は夏の祭礼で初めて見る訳で、皆口々に「喜多方にこんな祭りがあったとは知らなかった」と感心していると聞かされている。太鼓台を引く時の掛声は今も変わらず「1・2・3・エイヤー」である。山車同士が擦れ違う際にお互いの力量を競い合う「練り込み」が最高であり、見物客の興奮も最高に達する！

ラーメン・蔵・花の次は「太鼓台」で売り出してはいかがなもんでしょう。近年太鼓台を引き回す子ども達の姿が少なくなって久しい。喜多方の子ども達にとっては年に一度の楽しみである事は間違いない。永く続けて欲しいと思うのは私だけではあるまい。

## 「太鼓台万歳」

## 会津喜多方会 会報編集部 後記

《蔵のまち喜多方》ブランドを全国に知らしめた故金田実氏の顕彰碑が平成29年10月に建立されました。

昭和47年と48年に「蔵のあるまち喜多方」と題して喜多方市と若松市で、49年に東京で10日間写真展を開催したことから、マスコミを通して全国に認知されました。

東京での写真展には元集英社社長・会長の故若菜正氏と義兄の佐藤四郎氏達のご尽力があったと聞いています。

上京して『会津っぽ魂』で頑張った在京の方々は故郷への感謝の気持ちと思いで「喜多方のために…」と支援をされたと伺いました。

私達もそんな気持ちを持ちながら在京会で活動していきたいと思っています。

会報編集長　内山由美子
編集部　秋元美智子
　　鈴木　幹男

郷土料理（こづゆ・にしんの山椒漬・棒たら煮）
地酒・喜多方ラーメン・郷土の銘菓
地方発送承ります
民芸とおみやげ
駅前
甲斐商店
☎(22)0033
あいづ・きたかた

# 酒処「喜多方」

「蔵とラーメンのまち」として全国に名を響かせる喜多方は、11の蔵元が酒造りを続ける日本有数の酒処でもあります。全国新酒鑑評会でも多くの蔵元が金賞を受賞しています。

また、平成27年7月16日に開催されたインターナショナル・ワイン・チャレンジ2015では、喜多方の蔵元が出品した「純米大吟醸酒」が全876銘柄中、最高栄誉である「チャンピオン・サケ」の称号を手にしました。

## 喜多方酒蔵つぅりずむ

酒蔵探訪のんびりウォーク

「酒蔵ツーリズム」は、喜多方の代表的な地域資源である「日本酒」と「蔵の街並み」のエッセンスを併せ持つ「酒蔵」にスポットをあて、酒蔵を巡り、蔵人と触れ合い、地酒を味わう取組みを言います。

また、そのお酒が育まれた土地を散策しながら、郷土料理や伝統文化に触れることにより、地域全体を楽しむ旅行形態の一つです。

### ◆２月　喜多方ＳＡＫＥフェスタ

喜多方市・西会津町の12蔵元が集結し、各蔵自慢の日本酒をドーンと振る舞う「日本酒の祭典」です。その他にも会場には、福島県内全蔵元の純米酒と、お隣の山形県米沢市の日本酒も大集合します！

### ◆５月　酒蔵探訪のんびりウォーク

酒蔵を徒歩で巡りながら、酒蔵見学や自慢の日本酒を心ゆくまで楽しめる極上のウォークラリーです。コース途中には、「ちょっ蔵ポイント」と呼ばれる日本酒に合うプチおつまみもご用意しています。

### ◆７月　喜多方ＳＡＫＥ万博

喜多方の夏の一大イベント「喜多方レトロ横丁」の会場にて、喜多方ＳＡＫＥ万博を開催します。

昭和レトロな雰囲気の中、喜多方の地酒を飲み比べできます。

### ◆10月　喜多方ＫＡＮＰＡＩ祭り

喜多方市内にある居酒屋を自由に回り、各蔵おすすめの日本酒と日本酒に合う自慢の逸品料理を満喫することができるイベントです。まだ見ぬ喜多方の魅力を発見できるチャンスかもしれません！

## ☆喜多方市の取組みを紹介します☆

### ◆知的のんべぇのための酒造り講座の開催

平成８年から喜多方の地場産業である日本酒づくりについて学ぶとともに、酒造りの工程を体験できる、「知的のんべぇのための酒造り講座」を開催しています。

### ◆日本酒乾杯条例を施行

平成26年９月22日に、「喜多方産の酒器に注いだ日本酒による乾杯を推進する条例」を施行し、これを機に宴会において日本酒で乾杯する慣習が大きく広がりを見せ、日本酒への愛着と誇りが着実に広がっています。

# 喜多方の「朝ラー」文化 ◆朝ラー店を紹介します!

飯豊山の澄んだ伏流水が生み出す、醸造のまち喜多方産の醤油を使ったコクのあるスープと太いちぢれ麺が特徴の喜多方ラーメン。人口約47,000人ほどのこの町に、100軒以上のラーメン店があります。

観光シーズンにおける喜多方の朝の風物詩といえば、朝からラーメンを食べるために並ぶ行列です。親しみを込めて「朝ラー」と呼ばれるようになったこの風習は、地元住民の朝食の枠を越えて、朝ラーを食べるためだけに観光客が訪れるほどの知名度となりました。

喜多方で朝からラーメンが食べられるようになったきっかけは諸説ありますが、「市内にあった3交替制の工場に勤務していた人たちが、夜勤明けにラーメン屋に立ち寄ったから」とか、「朝早く農作業に出た農家の人が一仕事終えてラーメンを食べにいったから」とか、「冬、出稼ぎから夜行列車に乗って帰ってきた子どもを暖めるために家に帰る前にラーメン屋に立ち寄ったから」など様々です。

現在では、朝ラーを提供しているお店は、市内に約20店ほどあります。

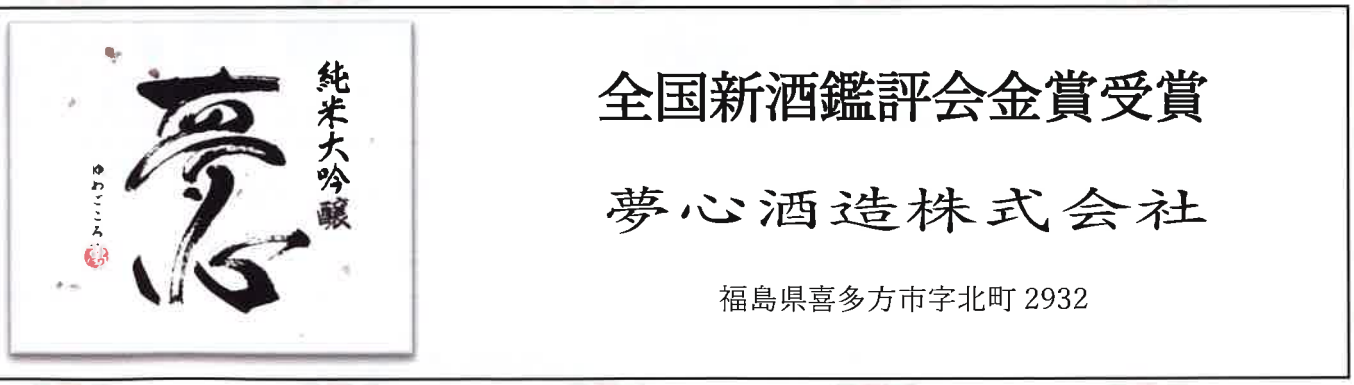
| マップNo | 店舗名 | JR喜多方駅からの距離 | TEL(0241) | 休　日 | 営業時間 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 赤れんが | 車で16分 | 22-5030 | 不定休 | AM11:00～なくなり次第終了 | 4月～11月の土日祝日のみ AM8:00～なくなり次第終了 |
| 4 | 一平 | 車で7分、徒歩33分 | 23-0699 | 水 | AM7:00～PM6:00 | |
| 6 | かど屋食堂 | 車で5分、徒歩21分 | 22-1663 | 月　祝日は営業 翌日休み | AM7:00～AM8:30(水～日) AM10:00～PM2:00 (火～日) PM6:00～PM7:30(火～土) | |
| 7 | ひさじや食堂 | 車で6分、徒歩21分 | 22-7639 | 不定休 | AM10:00～PM7:00 | 土日祝日　AM7:00～PM6:00 |
| 14 | あべ食堂 | 車で5分、徒歩17分 | 22-2004 | 水　他月1回火曜定休 | AM7:30～PM2:00 | なくなり次第終了 |
| 20 | 坂内食堂 | 車で5分、徒歩20分 | 22-0351 | 木 | AM7:00～PM6:00 | 祝日は営業 |
| 21 | 大三元 | 車で8分、徒歩37分 | 24-2399 | 月 | 平日　AM10:00～PM8:00 | 日祝　AM7:00～PM8:00 |
| 31 | 吉本屋 | 車で11分 | 22-1828 | 不定休 | 平日　AM10:30～PM2:00 | 土日祝　AM7:00～PM2:00 |
| 33 | 本家大みなと 味平 | 車で6分、徒歩23分 | 24-2990 | 火 | AM7:00～PM5:00 | |
| 34 | 櫻井食堂 | 車で1分、徒歩2分 | 22-0615 | 不定休 | AM8:00～PM7:00 | |
| 41 | あじ庵食堂 | 車で8分、徒歩32分 | 23-6161 | 月　祝日は営業　翌日休み | 平日AM10:00～　なくなり次第終了 | 土日祝日　AM7:00～なくなり次第終了 |
| 42 | 塩川屋 | 車で5分、徒歩17分 | 24-2520 | 木　祝日は営業 翌日休み | AM11:00～PM2:00 PM6:00～PM9:00（金土） | 日曜日AM7:00～PM2:00 |
| 43 | 麺や玄 | 車で6分、徒歩16分 | 24-5766 | 火 祝日は営業 翌日休み | AM7:00～PM3:00 | なくなり次第終了 |

※喜多方老麺会加盟店のみ

## ◆◆ 令和元年10月～令和2年12月 ◆◆
## 〈首都圏等で予定される　喜多方市の物産展　一覧〉

| イベント名 | 開催期日 | 時間 | 開催場所 |
|---|---|---|---|
| 第38回ちくさんフードフェア | 10月12日(土)～13日(日) | 10:00～16:00 | 日本食肉流通センター<br>神奈川県川崎市川崎区東扇島 |
| 第19回フェスティばるーん | 10月18日(金) | 11:00～20:00 | 東京都港区生涯学習センター<br>東京都港区新橋3-16-3 |
| 全国交流物産展in新橋 | 10月24日(木)～25日(金) | 11:00～20:00 | JR新橋駅前<br>（東京都港区/桜田公園側） |
| 第40回所沢市民フェスティバル | 10月26日(土)～27日(日) | 10:00～16:00 | 所沢航空記念公園（埼玉県所沢市） |
| 第42回かわさき市民祭り | 11月2日(土)～4日(月・祝) | 10:00～16:30 | 川崎富士見公園一帯（神奈川県川崎市） |
| 第44回いちかわ市民まつり | 11月3日(日) | 10:00～16:00 | 大洲防災公園（千葉県市川市） |
| 赤坂コミュニティまつり2019 | 11月9日(土)～10日(日) | 11:00～17:00 | 赤坂コミュニティプラザ<br>（東京都港区） |
| ふくしま大交流フェスタ2019 | 12月21日(土) | 11:00～17:00 | 東京国際フォーラム<br>（東京都千代田区） |

※　諸事情により日時等に変更が生じる場合もありますのであらかじめご了承ください。




全国新酒鑑評会金賞受賞

夢心酒造株式会社

福島県喜多方市字北町 2932

蔵のまち喜多方

河京
会津喜多方
ラーメン館

ラーメンと
土産グッズが満載。

■営業時間／10:00~17:30(冬期変更あり)
喜多方市字御竹1 TEL0241(21)1414
大駐車場完備

野口英世記念館隣

猪苗代の観光スポット。

いなわしろで食べ放題!

◆駐車場完備(大型バス可)

■営業時間／10:00~17:00(ビュッフェ11:00~14:30 最終入店)※冬期変更あり
耶麻郡猪苗代町大字三ツ和字前田34-1 TEL0242(62)5055

国道49号沿いのラーメンスポット。

■営業時間／11:00-17:00
会津若松市河東町倉橋字鏡山17-1 TEL0242(75)5855

http://ramenkan.com

◆コッコツリー
営業時間/10:00~17:30(ラストオーダー)
火曜日定休
喜多方市御清水3
TEL 0241 (21) 1417

会津のはちみつ酒
羊歯の木林

有限会社
峰の雪
酒造場

〒966-0802
喜多方市桜ガ丘一丁目17番地
電話 (0241) 22-0431 (代表)

あさひや

喜多方生ラーメン よもぎめん
喜多方っ子 蔵太鼓 本舗

有限会社 朝日屋食品

代表取締役 蓮沼 超男

〒966-0802 福島県喜多方市押切南二丁目16番地
TEL (0241) 22-1125 (代表)
FAX (0241) 25-7746

おぐに薬局

福島県喜多方市字江中子4184-4
TEL 0241-21-9669 FAX 0241-21-9662

やすらぎのひとときを
バークロンボ
喜多方市役所通り
TEL.0241-23-2688

ALL for 喜多方 ~すべては、ふる里の為に!!~

喜多方ラーメン

活力再生麺屋
〒966-0093 喜多方市清水ヶ丘1-11
☎0241-23-6161
志心庵食堂

Shiakawa

喜多方産蕎麦にこだわった
本格蕎麦焼酎発売中
（お求めは左記へ七二〇㎖
一、九九八円税込み）

喜多方蕎麦紀行

〒九六六一〇九一三
喜多方市豊川町沢部字於申壇六五
農事組合法人荒分ファーム直営店
あらわけ酒店
TEL 〇二四一二二一四八三八

蔵のまち 蔵のマークの
八七ータクシー
喜多方市字谷地田 7434-2
TEL 0241-22-0871

株式会社 大東出版梱包
株式会社 大東梱包運輸
代表取締役 会長
伊藤 光晴

倉庫・商品管理・梱包・発送
陸運局認可/関自貨2第2933号
一般区域貨物自動車運送業

〒351-0025
埼玉県朝霞市三原5-10-41
TEL:048-465-2004㈹
FAX:048-465-9617

街の中心に位置し、観光やビジネスに最適です
グリーンホテル
〒966-0818 福島県喜多方市字2丁目4664番地
TEL：0241-22-0011(代) FAX：0241-22-0116
http://www.akina.ne.jp/~green.h/

自動ブレーキ装置(衝突被害軽減装置)搭載
車両安定制御システム搭載

喜多方観光バス(株)
http://www.kitakatakanko.com
〒966-0802 喜多方市字桜ヶ丘1-1-1
Tel. 0241-21-1100 Fax. 0241-22-0700
Emaii : info@kitakatakanoko.com

スポーツ衣料 カジュアルウェア ネット販売 作業服 事務服 の
(株)ディレクターズアイエスビー 代表取締役 磯部 泰司
『人の輪を大切にし社会地域に貢献します!』 (喜多方市熊倉町出身)

DIRECTORS
DIRECTORS ISB.

【本 社】 〒130-0026 東京都墨田区両国3-21-16 ナカヤビル5F
TEL：03-3632-8940 FAX：03-3632-8945
【センター】 〒966-0017 福島県喜多方市関柴町三津井字前田409-2
TEL/FAX：0241-23-2726

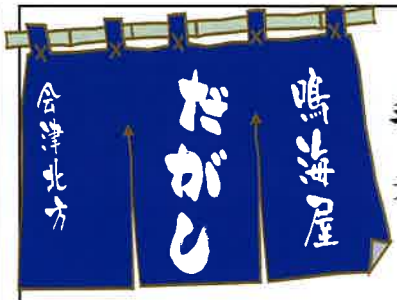
adidas FILA Champion MIZUNO PUMA

**文具・事務機の総合商社**

**アスクル代理店** ふるさとの皆様お申込み下さい

有限会社 **松本屋**

〒966-0817 喜多方市字3丁目4791
TEL. 0241-22-0362 FAX. 0241-24-4768
風間 常義（会津喜多方商工会議所　副会頭）




昔懐かし
手造り駄菓子製造元
老舗 鳴海屋
佐藤ミサ子

〒966-0819 喜多方市字一丁目4580
TEL.（0241）23-1701

ヨシノガワ
**会津 吉の川**
**吉の川酒造店**
喜多方市字一丁目4635 Tel. 0241-22-0059

飯豊山と蔵のまち喜多方で
**環境保護製品を販売**
＊エポックシステム（家庭用節電器）
＊ジェルシステム（工業用動力電圧制御器）
＊炎（排木材燃料蒸気ボイラー装置）　その他
**喜多方ブル自工株式会社**
代表取締役　上野　利八
喜多方市豊川町高堂太字橋向 2683
0241-23-1111（代表）

伝統の風味を豊かに伝える
味噌・醤油・つけもの
**(株)伊藤金四郎商店**
喜多方市字寺町4747
TEL.0241-22-1515　FAX.0241-22-9495

**身近にできることから、国際支援を！**
東京都認定　NPO法人
**いきいきフォーラム草の根支援**
顧　問　武蔵　好彦

〒113-0023　東京都文京区向丘1-7-8
コミュニティスペース「ほのぼの」内
Tel&Fax：03-3816-5346
E-mail：f-kusanone@tcn-catv.ne.jp
http://www1.tcn-catv.ne.jp/ikiiki-kusanone/

**喜多方 商工・商業・工業卒**
（現喜多方桐桜高校）
**関東支部 同窓会総会・懇親会**
**令和2年4月18日(土) 開催予定**
**多数のご参加　お待ちしてます**
支部長　東條　修（昭和40年工業卒・機械1回生）
事務局　〒343-0041 埼玉県越谷市千間台西3-2 パークタウン3-202
庄司宅内　TEL 080-1257-2891

相続登記はお済みですか!!
土地・建物の調査測量
会社・法人の登記
農地法3条・5条の許可申請
**大森登記測量事務所**
司法書士・簡裁訴訟代理・土地家屋調査士・行政書士
**大森 貞彦 ／ 大森佳彦**
喜多方市字東川原田7261-1（鳴瀬病院川向かい）
(0241) 23-1222㈹　FAX(0241) 23-1223

福島県立喜多方高等学校
**首都圏桜壇同窓会**
会長　風間　常行（昭和40年普卒）
連絡先　〒285-0846 千葉県佐倉市上志津1760-103
携帯：080-4350-3338　Fax.：048-881-6175

**すずかけ会へのおさそい**
喜多方女子高等学校
喜多方東高等学校
首都圏同窓会
**次回（第31回）総会は2022年5月の予定**
**同窓生多数の参加を希望しています**
会長　富木みゑ（昭和39年卒）（旧姓/郡司）
問合せ先：〒174-0046 東京都板橋区蓮根3-15-2-310
TEL. 03-3969-1764　富木　みゑ

陸上競技場、サッカー場、テニスコート、公園、レジャー施設の設計・施工

# 日本体育施設株式会社

取締役会長　坂内善次郎　喜多方市塗物町出身

本　　社　〒164-0003 東京都中野区東中野3-20-10　TEL 03-5337-2611 FAX 03-5337-2610
福島営業所　〒963-8034 郡山市島1-6-23　TEL 024-921-3020
支店･営業所　札幌・仙台・前橋・宇都宮・埼玉・東京・千葉・北陸・大阪・和歌山・高松・福岡

# 岩城・渡辺税理士合同事務所

●認定経営革新等支援機関　●TKC全国会中堅・大企業支援研究会会員

## 法人税、所得税、消費税、資産税等のご相談

〒107-0052　東京都港区赤坂2-16-21 栄屋ハウス102/103号室
Tel. 03-6459-1110　Fax. 03-6459-1161
E-mail watanabe-mamoru@tkcnf.or.jp

"食と職"の田中教育グループ　【本部】東京都小平市小川東町 5-21-14

## 学校法人　啓倫学園

理事長・校長　田中 啓介
（山都町出身、きたかた応援大使）

TEL. 042-344-5880
URL http://tanaka.ac.jp
※啓徳修養塾（山都町沼ノ平）

国際製菓専門学校　国際パティシエ調理師専門学校
西東京調理師専門学校　ラブニール国際K・Hカレッジ　飯豊連峰いいで館（山都町一ノ木）

胃腸科・循環器科・内科・リハビリテーション科

## 医療法人　佐原病院

喜多方市字永久7689の1
電話0241(22)5321

## 介護老人保健施設　ケアホームやまと

喜多方市山都町木幡
電話0241(38)2600

- 高郷診療所
- グループホーム「ひまわり」
- グループホーム「さくら」
- デイサービス「さわら」
- グループホーム「さわら」
- 佐原指定「居宅介護支援事業所」

# 株式会社ケイエイ・メンテナンス

〒171-0022　東京都豊島区南池袋4丁目17番7号
TEL：03-5960-5060　FAX：03-5960-5061
代表取締役　秋山　義昭（喜多方市熊倉町出身）
●主な業務：建物内外の保守管理警備清掃、環境測定、
貯水槽等の清掃、害虫駆除
住宅のリフォーム、増改築、ハウスクリーニング他

国土交通大臣許可（般－19）第1562号
全国鐵構工業会認定工場　総合建設業・一級建築士設計事務所
"技術と信用で地域開発に貢献する"
小野瀬工業株式会社
会長　小野瀬　正　　社長　小野瀬　賢治
建設部・鉄工部・自動車部・マンション
本　　社／喜多方市字谷地田7437　☎（0241）22-1607
堂畑工場／喜多方市豊川町堂畑　☎（0241）22-6108
若松工場／会津若松市駅前陸橋通　☎（0242）22-4010
鹿瀬工場／新潟県東蒲原郡阿賀町鹿瀬　☎（0254）92-4487
自動車工場／喜多方市関柴町上高額字境田　☎（0241）22-1378

三菱自動車販売代理店
民間車検場
小野瀬産業株式会社
オノセモーター
喜多方市関柴町上高額字境田651-3
☎0241-22-1378

オノセスポーツ
oNose Sports
飯豊ゴルフセンター
☎0241-24-4100
喜多方市松山町村松字馬道上

カフェレストラン
Calendrier
カランドリエ
TEL 0241-25-7272

小野瀬体育館
諸会合・集会・臨時店舗
TEL 0241-25-7272

ゆとりの座敷で、ゆとりの会食
割烹
彩工房
喜多方市 月見町 7099-3
TEL 22-0218
order@kitakata.info
http://kitakata.info

祝　会津喜多方会　貴会の益々のご発展を祈念申し上げます。
新田管工 株式会社
産業プラント・ビル設備　配管
工事専門会社　創業　82　年
代表取締役会長　新田　興助
（西会津町野沢出身）
横浜市鶴見区佃野町 9－3
（TEL）045-571-3681　http://www.nittakankou.co.jp
（FAX）045-571-3606　E-mail:nittak@topaz.ocn.ne.jp

《低料金で温泉満喫》
会津熱塩温泉
観音風呂
ホテル ふじや
〒966-0101 福島県喜多方市熱塩加納町字熱塩
TEL（0241）36-2121㈹
FAX（0241）36-3300

地域の発展と振興に全力で貢献します！ 喜多方市ふるさと振興株式会社
喜多方事業所：道の駅 喜多の郷・蔵の湯・ふるさと亭・蔵の里・市美術館・押切川運動公園外
TEL. 0241-21-1139 FAX. 0241-21-1157 HP http://www.furusatosinkou.co.jp
熱塩加納事業所：ひめさゆり浪漫館・三の倉スキー場
TEL. 0241-36-2272 FAX. 0241-36-2272
山都事業所：そば資料館・そば伝承館・いいでのゆ・いいで荘
TEL. 0241-38-3000 FAX. 0241-38-3000 HP http://www.sobanosato.jp
高郷事業所：ふれあいランド高郷・カイギュウランドたかさと
TEL. 0241-44-2888 FAX. 0241-44-2890 HP http://www.frtspa.co.jp

100年前からリサイクル

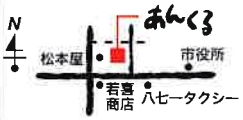
アマルク

「アマルク」は、荒川産業(株)リサイクル事業の
サービスブランドです。

0120-23-1662
http://amarc-recycle.com アマルク

運営：荒川産業（株）喜多方市字屋敷免 3960（消防署南隣）

BAR あんくる uncle




〒966-0817
喜多方市字3丁目4793-2
TEL 0241-24-5508

山ふところに　心やすらぐ　湯けむりひとすじ

日本秘湯を守る会々員
会津 日中温泉 ひめさゆりの宿

ゆもとや

〒966-0101 福島県喜多方市熱塩加納町熱塩字大畑29
TEL (0241) 36-2266
FAX (0241) 36-2267
http://aizu-yumotoya.com

喜多方伝統の名品を
10店舗がおおくりします。

喜多方のれん会

会　長　樟山 せい子（あづまさ）
事務局　渡部 ひとみ　（山中煎餅本舗）
喜多方市字豊川町米室字遠瀬戸4325　電話 0241-22-0614

酒蔵と日本庭園

雲嶺庵

うんれいあん

TEL 0241-22-5155 OPEN 9:00 - 16:30

全国新酒鑑評会金賞受賞歴　14回

會津 ほまれ

ほまれ酒造株式会社
〒966-0902 福島県喜多方市松山町村松字常盤町 2706
TEL:0241-22-5151 ／ FAX：0241-24-4600

米と文化の里

湯川村

福島県河沼郡湯川村大字清水田字長瀞18番地
Tel 0241 (27) 8800　Fax 0241 (27) 3760
URL http://www.vill.yugawa.fukushima.jp

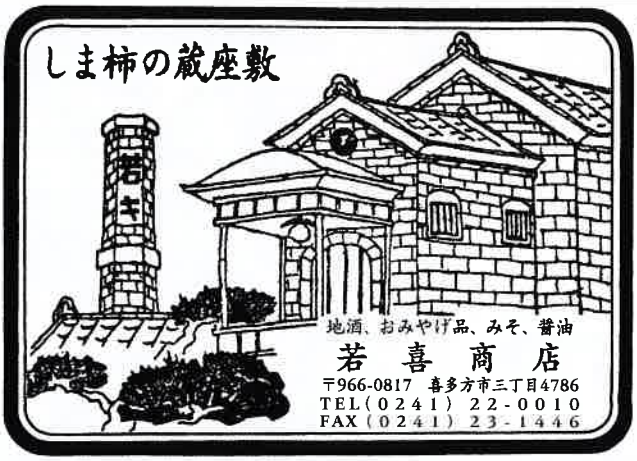
「村民応援歌」は倍賞千恵子さんが歌っています！
お聴きになりたい方は、村のホームページにアクセスして下さい。

医療法人
社団福寿会

武田医院

診療科目　内科・皮膚科・整形外科・心療内科・アレルギー科・小児科

〒966-3512 福島県喜多方市塩川町字東栄町1丁目3番地6
TEL：0241-27-4031　FAX：0241-87-2311




**若喜商店は宝暦五年（1755年）創業。**

建物は「国登録有形文化財」

「若喜天然醸造醤油」醸造元。

なつかしい昭和の店「若喜．昭和館」

「赤べこ・手作り体験教室」実施

「レトロ」な「おみやげ店」

割烹寿司

おおた

# おゝ田

喜多方市御清水 TEL 24－5075 FAX 23－3034

あいでみっせ　あいづのへそ

aizu yugawa aizubange

道の駅

# あいづ

湯川・会津坂下

河沼郡湯川村大字佐野目五丁ノ目78-1 ☎0241-27-8853

お客さまと共に物流を考える

営業倉庫 株式会社 **大善**

本　社　福島県喜多方市字西町 2840-1

TEL.0241-23-2275　FAX.0241-21-1131

◆総合物流業

**DAIZEN MYANMAR Co., Ltd**

PLOT No. C-13

THILAWA SPECIAL ECONOMIC ZONE

A YANGON REGION, MYANMAR

TEL : 090-8610-4324

E-Mail : t-yabe@dzn.jp

毎日・福島民報・日経・産経

スポニチ・サンスポ

(有)蔵見世

喜多方新聞販売センター

喜多方市中央通り TEL 0241-22-1723

くすり・化粧品・銃砲火薬類

瀬文

創業寛保元年

お守りします あなたの美と健康

300年の力で…

(有)冠木薬店

喜多方市中央通り TEL 0241-22-0053

時代から次代へ……　新たな地域活性への創出

# 会津喜多方商工会議所

会　頭　唐橋幸市郎　　副 会 頭　風間常義

副会頭　佐藤富次郎　　専務理事　瓜生賢恵

〒966-0827　喜多方市幸町7,331番地

TEL. 0241-24-3131(代)　FAX. 0241-25-7171

URL　http://www.aizukitakatacci.or.jp

E-mail　info@aizukitakatacci.or.jp

# 夢と希望が持てる
# 「わくわくする喜多方」

# 喜多方市
KITAKATA CITY

市の花「ひめさゆり」

市の鳥「セキレイ」

市の木「飯豊スギ」

市の魚「イトヨ」

市の昆虫「ホタル」

---

## 医療法人 昨雲会

理事長　飯塚　卓

毎月第３土曜日休診

【スタッフ随時募集中】
看護師・准看護師

**診療科目**
精神科・心療内科・内科
リハビリテーション科・歯科

精神科デイケア・精神作業療法
認知症治療病棟

### 飯塚病院
院　長　村田　繁雄
喜多方市松山町村松字北原 3634-1
TEL 0241-24-3421　FAX 0241-24-3426

**診療科目**
内科・循環器内科・消化器内科・糖尿病内科
腎臓内科・神経内科・外科・消化器外科
乳腺外科・整形外科・泌尿器科・眼科
耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科・小児歯科

救急指定病院
人工透析・リハビリテーション訪問看護
訪問診療・人間ドック・各種検診実施

### 有隣病院
院　長　滝浪　真
喜多方市松山町村松字北原 3643-1
TEL 0241-24-5021　FAX 0241-24-5024

診療科目　内科

### 山都診療所
喜多方市山都町字古屋敷 464-3
所　長　板橋　邦宏　診療日：火･金（9:00~12:30）
TEL 0241-38-2017　FAX 0241-38-3163

http://www.sakuunkai.or.jp/

---

## 喜多方市民の皆様の、ゆとりある暮らしを応援します。

### 喜多方市金融団（五十音順）

**会津信用金庫喜多方支店**
支店長　貝沼　孝

**会津信用金庫喜多方東支店**
支店長　渡部　大純

**会津商工信用組合喜多方支店**
支店長　星　憲之

**会津商工信用組合塩川支店**
支店長　横山　隆一

**JA会津よつば喜多方支店**
支店長　湯浅　邦光

**大東銀行喜多方支店**
支店長　本田　貴之

**東邦銀行喜多方支店**
支店長　吉田　哲治

**東邦銀行塩川支店**
支店長　永瀬　芳幸

**福島銀行喜多方支店**
支店長　小枝　政之